

〔エトフェンプロックス・バリダマイシン・
フェリムゾン・フサライド水和剤〕

ブラシン®トレバリダ®
水和剤

農林水産省登録 第18235号
性 状：類白色水和性粉末 63μm 以下
毒 性：普通物
危 険 物：—
有効年限：5 年
包 装：400 g × 20

有効成分：エトフェンプロックス ……5.0% バリダマイシン A ……2.5%
フェリムゾン ……15.0% フサライド ……10.0%

殺虫剤分類	3A
殺菌剤分類	U18,U14,U16,1



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらの QR コードを読み取ると i-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になります。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病虫害名	希釈倍数	107-ℓ当り 使用用量	使用時期*	総使用回数*
稲	いもち病 紋枯病 ごま葉枯病 穂枯れ（ごま葉枯病菌） ツマグロヨコバイ ウンカ類 カメムシ類	500 倍	60～ 150 ℓ	14 日前	本 剤：2 回 エトフェンプロックス：3 回 バリダマイシン：6 回 （#1） フェリムゾン：2 回 フサライド：3 回

#1：育苗箱灌注は1回、本田では5回

使用方法：散布



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- たばこ、けいとう、幼植物のだいず・あずき・いんげんまめ及びきく（秀芳の力等）には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲、誤食などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。

また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。

- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。
- 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川・養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池等周辺での使用はさける。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こすおそれがあるので十分注意する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (<https://www.i-nouryoku.com/prod/search/> [農業ガイドの見方.pdf](#))」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4)－F」も合わせてお読み下さい。